

## 議会運営委員会行政視察報告

11月10日から12日まで、議長を含む9人で、福岡県古賀市と佐賀県嬉野市で、議会運営、議会改革等について行政視察を行いました。

**古賀市**は、九州の北部に位置し、福岡市や北九州市に近接しており、古くから交通の要所として栄えた豊かな生活環境の整ったまちです。平成9年に市制を施行して現在に至っています。

人口は5万8000人余で、面積は約42平方キロメートルです。

議員定数は、19人で平成26年度に議会基本条例を施行し、これに基づいた議会運営を実施しています。

佐賀県の南西部に位置する**嬉野市**は、平成18年に嬉野町と塩田町が合併して誕生しました。周囲を山々に囲まれたのどかなまちであり、緑茶栽培が盛んで、嬉野温泉が有名です。人口は2万7000人余り、面積は約126平方キロメートル、温泉や医療との組み合わせによる癒やしのまちづくりによる定住促進や交流人口の拡大を目指しています。

議員定数は18人、平成21年度に議会基本条例と政治倫理条例を施行しています。すべての会議の原則公開、ケーブルテレビ、インターネットによる生中継での配信を行っています。

訪れた2市とも全国から

## 総務市民常任委員会行政視察報告

11月4日から6日まで、沖縄県糸満市の「新しい公共交通検討事業」及び「浦添市の地域通貨」について行政視察を行いました。

**糸満市**の送迎バス活用モデル事業として、協力事業者（民間事業者）との連携・協力のもとに、既存の施設送迎バスを有効に活用するもので、市内在住の65歳以上で1人で乗り降りがで

きる人を対象に、無償運行されています。また、市内を移動する観光客・地域住民の方々の交通手段として地域観光交通を運行しています。路線バスとタクシー

の中間に位置し、利用者は事前の予約が必要となりますが、運行区域内であれば希望するバス停から目的地付近のバス停まで乗り合いで送迎するものです。

**浦添市**が発行する地域通貨「察度」は、『市民・行政・事業所による協働のまちづくり』のための道具として運用するものです。

「察度」の付与対象事業に参加・協力することで「察度」を入手し、それを個人間の交換や協賛事業等の提供するサービスの対価の全部または一部として利用することができま

す。の視察を積極的に受け入れており経験豊か。当委員会からも積極的な意見を述べ充実した研修となりました。



「こころ」をカタチにする表現手段であり、地域のコミュニティを活発にし、住民同士の会話を増やすことなどを主な目的としています。



## 議員全員協議会のあらまし

### 【協議事項】

地方創生に係る渋川市人口ビジョン（案）及び渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

人口推計では対策を講じなければ平成52年には5万人台となるが、本市としてさまざまな施策により、7万人を目指すことが示されました。

議員からは、進捗管理の重要性が求められる。また財源をしっかりと明示した計画でなければならぬなどさまざまな意見が出されました。

### 【報告事項】

「鉄鋼スラグを含む材料の対応方針」に基づく渋川市の対応について

国・県・市の連絡会議で対応が決定したことにより、市としてこれまで調査を行っていた72カ所について、段階的に措置を講じることが報告されました。

# 議会報編集委員会行政視察報告



10月26日から27日、親しまれる議会だよりづくりを目的に全国的に優れた町、宮城県川崎町へ視察研修を行いました。

川崎町は、仙台市の南西に位置し、人口9575人の山間盆地の陶器が有名な町です。

議会だよりづくりは、議員が中心となって読みやすい紙面づくりに取り組んで

います。特に表紙の写真は、より多くの皆さんに見ていただくために力を入れていきます。議会と読者の距離を近づけるよう町民を紹介するコーナーを設けたり、町民の皆さんに原稿を書いてもらったり、町民参加型を取り入れています。文字も分かりやすい配慮がされています。

記事は、一般質問にウエイトを置き、一人の質問に1ページが使われています。見やすい紙面づくりのため

と同じが望ましい、住民を代表してチェックする立場の議員は、市長及び執行部から嫌われ者にならないければならない、また議会だよりの充実を図り、住民に読ませる努力が必要など、全議員が真剣に耳を傾け、地方議会の運営や議会改革等大変役に立った話が聞きました。

にと写真を多く取り入れたり、空いているスペースを多くとるといった工夫をしています。

川崎町の議会だよりは、毎年開催される町村議会全国コンクールに何度も入選されている議会だよりですが、さらに全国一を目指してがんばる意気込みがうかがえました。

本市も研修で学んだ誰もが読みたくなる、そして分かりやすい議会だよりづくりに心がけたいと思います。

- 10月
- ▽26日～27日 議会報編集委員会が宮城県川崎町に行政視察
  - 11月
  - ▽5日 岩手県宮古市が視察来庁
  - ▽4日～6日 総務市民常任委員会が沖縄県糸満市と浦添市に行政視察
  - ▽10日～12日 議会運営委員会が福岡県古賀市と佐賀県嬉野市に行政視察
  - ▽11日 愛媛県今治市が視察来庁

## 議会往来

## 沼田市議会との合同研修会



北毛地区で隣接する沼田市議会19人と渋川市議会21人の合同研修会が11月27日、元全国市議会議長会調査広報部長の加藤幸雄氏を講師に招き、地方議会の運営及び改革についての講習会を開催しました。

地方議会の制度と特色の話の中で、議長任期は議会の代表として重要な役割を担っているため議員任期

と望ましい、住民を代表してチェックする立場の議員は、市長及び執行部から嫌われ者にならないければならない、また議会だよりの充実を図り、住民に読ませる努力が必要など、全議員が真剣に耳を傾け、地方議会の運営や議会改革等大変役に立った話が聞きました。

また講演終了後に両市の議員で意見交換を行い、議員からは以下の提案があり、両市議会で検討していくこ

- ①人口減少対策として、婚活事業等を連携して開催できないか。
- ②湘南新宿ラインの延伸を広域で連携してJR東日本に要望していけないか。
- ③観光PRを共同でできないか。
- ④お互いのイベント等に議長等を招待してはどうか。

来年度は沼田市で開催することを決め、実りある研修会が終了しました。

## 議会を傍聴

してみませんか



議会の傍聴は、市民の皆さまが議会活動に触れることのできる最も身近な方法の一つです。ぜひ、議会を傍聴し、議員の発言や活動を、直接ご覧ください。